

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

概要

部長：内藤 泰（耳鼻咽喉科）

部長：篠原 尚吾（頭頸部外科）

スタッフ：7名（うち1名が任期付き）

専攻医：2名（他に1名がプログラムにより他院で研修中で来年度当院に復帰）

非常勤医師：2名

専門外来：腫瘍、音声、人工内耳・難聴、めまい

専門医取得のための研修指定学会：日本耳鼻咽喉科学会、日本気管食道科学会、日本頭頸部外科学会、日本内分泌外科学会

各種指導医・専門医・認定医数：日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修指導医（5名）、日本耳鼻咽喉科学会専門医（6名）、日本気管食道科学会専門医（1名）、日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医（1名）、日本内分泌外科学会専門医（1名）、日本がん治療学会暫定指導医（1名）、日本がん治療学会認定医（1名）

2018年の診療及び学術実績

1) 年間手術数：1194例

鼓室形成術：104例、人工内耳埋込術：63例、鼻内内視鏡手術：71例、扁桃摘出術：167例、甲状腺・副甲状腺手術：61例、頭頸部悪性腫瘍手術131例、喉頭微細手術：44例、良性唾液腺腫瘍手術：39例、甲状軟骨形成術：9例

2) 学会報告

国際学会：7題（国際頭頸部癌フォーラム（IFHNOS） 5題、アジア頭頸部癌学会（ASHNO） 1題、米国春季合同耳鼻咽喉科会議（COSM） 1題、など）

うち、専攻医（2名）が筆頭演者のもの：2題

国内学会：29題（日本耳鼻咽喉科学会総会 1題、日本頭頸部癌学会 5題、日本聴覚医学会 12題、など）

うち、専攻医が筆頭演者のもの：2題

3) 論文発表

英文論文2編（The Laryngoscope、Japanese Journal of Clinical Oncology）

うち、もと専攻医（1名）が筆頭著書のもの：1編

和文著書・論文18編

4) 学会主催

第63回日本聴覚医学会を、内藤 泰会長のもと、神戸市で開催した

特 徴

当科は耳鼻咽喉科・頭頸部外科において本邦を代表する研修施設であり、日本耳鼻咽喉科学会、日本気管食道科学会研修指定病院である。また、日本頭頸部外科学会、日本内分泌甲状腺外科学会の研修指定病院である。

専門性の高い診療が行われていることに加えて、当院に高度の救急・救命センターも設置されているため、圧倒的に多数で多彩な症例が経験できる。当科の研修プログラムでは、臨床例の診療と臨床カンファレンス、体系的なサブスペシャリティ・シリーズレクチャーを組み合わせしており、専攻医在籍期間中に耳鼻咽喉科・頭頸部外科の基本知識、一般的外来診療（診察、検査、外来処置）と基本的手術手技が習得できる。当科の部長は学会で教育講演等を多数行っており、指導医は全員、1回以上の更新を経た専門医で、全国学会でシンポジストやパネリストを担当するエキスパートである。

外来診療では高度難聴、頭頸部腫瘍、中耳疾患、めまい疾患、音声疾患に力を入れ、専門性の高い診断と治療を行っている。手術については、本邦トップレベルの専門的手術と診療科としての必須基本手術がバランス良く研修できる。学術活動では、学会発表を積極的に行い、臨床論文の執筆、投稿を指導している。また当科は、海外との交流として国際学会参加だけでなく、当科のフェローやスタッフからオーストラリア・メルボルン大学耳鼻咽喉科、米国・トマスジェファーソン大学キンメル癌センター、米国・ピッツバーグ大学ヒルマン癌センターへの留学派遣実績があり、常に世界レベルの臨床維持に努めている。

経験症例内容、症例数、指導体制、いずれにおいても、将来の専門医取得に向けて、万全の研修が可能である。

週間スケジュール

		午 前	午 後	夕
月	手 術	めまい外来（隔週）	部長回診	カンファレンス、抄読会、学会予演会
火	手 術		頭頸部腫瘍外来	
水	手 術		頭頸部腫瘍外来	
木	手 術		人工内耳・難聴外来	
金	手 術		音声外来（隔週）	

専門研修プログラム

当院で耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門研修には2つの方法があります。

① 当院が基幹病院として公開している臨床研修プログラムに応募する。

定員4名募集します。臨床研修プログラム4年のうち3年を当院で、あとの1年を京都大学・長崎大学・兵庫県立尼崎総合医療センター・赤穂市民病院のいずれかの病院で研修していただくプログラムと、京都大学で臨床研修を開始して、日赤和歌山医療センターや大阪赤十字病院など関西の主要病院で研鑽を積み、4年目を当院で研修していただくプログラムの2種類があります。救急疾患を含めてあらゆる耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患が質・症例数とも豊富であり、充実した研修をしていただけたらと思います。

② 京都大学・あるいは長崎大学の臨床研修プログラムに参加する。

当院は京都大学・あるいは長崎大学を中心とする臨床研修プログラムの連携病院としても登録しており、これらの大学病院から1-2年間研修に来ていただくことも可能です。ただし、当院を基幹病院として募集した人員で定員が埋まってしまった場合は、大学からのプログラム参加者に制限を設けますので、当院での研修は難しくなることがあります。

神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

内 藤 泰 (耳鼻咽喉科)

篠原 尚吾 (頭頸部外科)

: kobejibika@kcho.jp